9月号

愛知県同胞援護会だより

第422号
令和5年9月1日発行

さくら第２保育園「お化けだぞ～」

目次

特集：健康レシピ・利用者の声 …… P.2
特集：介護クイズ …… P.3
春緑苑 …… P.4
第2春緑苑 …… P.5
とよた苑・東山デイサービス …… P.6
第2とよた苑・保見の里 …… P.7
大府の郷・若草苑 …… P.8
春日苑・ワーカー鷹来 …… P.9
サンホーム豊田・さくら保育園・さくら第2保育園 …… P.10
支えていただいた方々 …… P.11
特集：〇〇ってどんなところ? …… P.12

ご利用者の声

今回は、今年の5月に特別養護老人ホーム保見の里に入所された大村髙江さんの声を紹介します。

職員：入所されて約3か月経ちますが、施設での生活はいかがですか？

大村さん：少しずつだけど慣れてきたよ。話し相手は少ないけど、職員はよくしてくれるし。

職員：それはよかったです。困ったことがあったらいつでも言ってくださいね。

大村さんは生け花と野球観戦がお好きと聞いておりますが、生花クラブはいかがですか？

大村さん：楽しく参加していますよ。花はいいね。見ていると気持ちが明るくなるし、元気になる。

職員：生活空間に花があるのはいいですよね。次回の生花クラブも楽しみにしていてくださいね。野球観戦はいかがですか。

大村さん：もう年だから見てないけど、昔はよく野球観戦していましたよ。当時は名古屋に住んでいたから球場に行って応援していたの。もちろんドラゴンズファンよ！

好きなことを話すときの大村さんの生き生きとした表情が印象的でした。

大村さん、ありがとうございました。

食事管理 ～イワシを食べよう～

特別養護老人ホーム第2春緑苑　管理栄養士
寺井知子

「イワシ」は、古くから食べられている日本人に馴染みの深い魚です。お刺身や煮つけ、つみれ、フライなど、様々な料理があります。

イワシには、たんぱく質やカルシウム、鉄分などのミネラル、ビタミンD、B12などが含まれています。カルシウムはビタミンDと一緒に摂ることで吸収率が上がり、調理方法によっては骨ごと食べることもできるので、骨粗しょう症予防におすすめです。また、魚油にはDHAやEPAなどの脂肪酸が豊富に含まれており、血液をサラサラにする生活習慣病予防効果や、脳を活性化する認知症予防などの効果が期待できます。

第2春緑苑では、「イワシの梅煮」を提供しています。梅干しに含まれているクエン酸は、カルシウムの吸収を助ける働きがあると同時に、梅の風味が魚の臭みを消して、暑い季節でもさっぱりと食べることができます。

漁獲量の多いマイワシの旬は5～10月です。脂ののったイワシを、和洋折衷様々な料理で食べて、元気に過ごしましょう。

イワシの梅煮

介護のQ&A（腰痛予防クイズ編）

介護業務には、利用者さんの移乗や動作のサポートなどで、
腰へ負担をかける姿勢や動作が多く、職員の腰痛は大きな問題となっています。
そこで、介護における腰痛予防対策の知識をクイズにしましたので、ぜひ挑戦してみてください。

Q1 腰痛予防における介助の考え方で正しいのは？

- **A** 複数人で持ち上げ、一人ひとりの負荷を軽減する。
- **B** 介護機器を積極的に活用し、持ち上げない介助を行う。

Q2 仰向けから横向きに体位変換する際、利用者さんの体はどの状態にしてもらうといいか。

- **A** 腕を胸の前で組み、両足を立ててもらう。
- **B** 腕と足をまっすぐ伸ばす。

Q3 腰のサポーター（コルセット）の使い方で正しいのはどちらか。

- **A** 勤務中はすべての職員がコルセットを着用する。
- **B** 強い痛みがあるときのみ着用し、寝るときは外す。

Q4 デスクワークに腰痛は無関係。正しいか、間違いか。

- **A** 正しい。
- **B** 間違い。

Q5 画像の道具はどのように使うものか。

- **A** 移乗の際に利用者さんの背中に敷き、滑りを良くする。
- **B** 介助の際に職員の足が滑らないよう、床に敷いて使用する。

Q1：答えB。人力のみで介助せず、適切な介護機器を使用することで、負担を軽減することができます。
Q2：答えA。体をコンパクトにしてもらうと摩擦面が少なくなり、介助がしやすくなります。
Q3：答えB。常にコルセットを着用すると筋力が低下し、腰痛が悪化してしまう可能性があります。医師に相談し、痛みがあるときだけ使用しましょう。
Q4：答えB。同じ姿勢でいることによって筋肉が緊張し、疲労して腰痛になることがあります。
Q5：答えA。スライディングボードと呼ばれる介護用品で、ベッドと車いすの間を移乗介助する際などに使用します。

春緑苑

特別養護老人ホーム

あつあつお好み焼き

7月12日(水)、「お好み焼きパーティー」を開催しました。

刻み食を召し上がっている方にも楽しんでいただけるように、材料には刻みキャベツとひき肉を使用しました。大きなホットプレートを用意して、利用者さんの目の前でお好み焼きを焼いていると「孫が小さいうちは家でもこうして焼いたりしたわ」と、懐かしそうに話してくださる方もいらっしゃいました。

かつお節が踊る熱々のお好み焼きを召し上がっていただくと、「おいしい！」「上手に焼けてるね」と、みなさんから大好評でした。

いっただっきまーす！

デイサービス

会わせてちょうだい！

7月の「七夕会」で、『2人を会わせてちょうだいゲーム』を行いました。

新聞紙を丸めて作った金色の玉を上手く籠に投げ入れると、玉の重みで滑車が動き、織姫と彦星が会うことができるというゲームです。「会わせてちょうだい！」というかけ声とともに真剣な表情で玉を投げ入れ、上手く2人を会わせることができると歓声が起こっていました。

ゲーム後には、織姫と彦星による出し物を披露して大盛り上がり。おやつには副施設長手作りのもちもち白玉が入ったフルーツポンチを召し上がっていただき、「七夕会」を楽しんでいただきました。

ゲームで楽しみました♪

グループホーム

お楽しみテイクアウト！

7月25日(火)、恒例のテイクアウトでの昼食会を行いました。

今回は『カツ丼いっぽん道万吉』のどんぶりメニューからテイクアウトを選びました。

数あるどんぶりの中でも人気だったのは、カツ丼とエビ卵丼で、それぞれに頼んだものが届くと「おいしそうだねー」「そっちもおいしそうね」と、互いに選んだものを見せ合いながら召し上がっておられました。

次回は11月を予定しており、みなさん今から楽しみにされています。

とってもおいしそうですね♪

居宅介護支援事業所

合同事例検討会

7月中旬、他の居宅介護支援事業所と「合同事例検討会」を行いました。

この合同事例検討会は、年5回開催しています。今回は当事業所が担当している困難事例を取り上げ、「要介護5の利用者さんへの最適なサービスとは何か」「看取り期の利用者さんに対するケアマネジャーとしての心得や注意すべき点」などを、グループワークを行いながら話し合いました。

日頃一人で動くことが多いケアマネジャーですが、このようにケアマネジャー同士で意見を交換することで新たな発見があり、とても勉強になりました。

今後もこういった勉強の場に積極的に参加し、日々の業務に活かしていきます。

第2春緑苑

特別養護老人ホーム

フルーツを食べよう！

7月14日(金)、昨年に引き続き、大好評の「フルーツバイキング」を行いました。

メロンにマンゴー、マスカット、桃、スイカ、オレンジを食べやすい大きさにカットし、大皿に盛り付け、食べたいフルーツを選んでいただきました。

フルーツの甘い香りがユニットに広がり、「うわー、おいしそう！」「すごく豪華だね」「どれを食べようか迷っちゃうね」と、みなさん大変喜んでおられました。

これが食べたいな♪

ショートステイ

フルーツパフェ作り

ショートステイの利用者さんと一緒に「フルーツパフェ」を作りました。

2週間ほど前から、ショートステイを利用される予定のみなさんにお伝えすると、「そうなんだ！」と、とても楽しみにしているご様子でした。

当日は、メロンやバナナ、さくらんぼなどの様々なフルーツやお菓子を準備し、お好きなものを選んでパフェを作っていただきました。

アイスや生クリームを盛り付けた皿に、それぞれ好きなものをトッピングし、自分だけのオリジナルのフルーツパフェが完成して、みなさんご満悦でした。

好きな
フルーツを
トッピングして・・・

パフェの完成！

デイサービス

しっかり運動するぞ

個別機能訓練に意欲的に取り組まれているAさんは、毎回一生懸命に歩いて身体を動かしておられます。休憩しているときに話を伺うと、「ここで運動してマッサージしてもらうと、次の日調子が良くなるの」と、笑顔で話してくださいました。

そんなAさんにこれからの目標を伺うと、「100歳まで元気に過ごす！って言っておこうかな」と、茶目っ気たっぷりの笑顔で答えてくださいました。

デイサービスセンターで100歳のお祝いができるように、これからも運動を頑張ってくださいね。

運動を続けていつまでも元気でいましょうね

職員随想

特別養護老人ホーム　介護職員
宮久保唯衣

私の趣味

私は、最近「UFOキャッチャー」にハマっています。

大きなぬいぐるみや小さなキーホルダーなど、たくさんの種類の景品があり、お菓子なども景品として入っています。新しいUFOキャッチャーを見つけると、ついつい取ろうと奮闘する日々です。

インターネットで私の気に入っているキャラクターの景品の情報を調べ、新しいものがあればすぐに駆けつけます。気が付くと、私の部屋はぬいぐるみがいっぱいで、足の踏み場がない状況です。それでも、これからもいろいろな種類のぬいぐるみを集めたいと思っています。

とよた苑

特別養護老人ホーム

夢中になれるもの

今年の5月に入所されたSさんの趣味は、「塗り絵」です。

昔はまったく興味がなかったそうですが、以前利用していた施設で時間を持て余すことが多く、周りからの助言で塗り絵を始めたところ、楽しくて夢中になってしまったとおっしゃっていました。

朝から晩まで没頭し、毎日5、6枚の塗り絵が完成。色鉛筆や画材を家族が用意してくれることが、より一層のやる気になるそうです。

「今までやってこなかったことでも、こんなに夢中になれるなら、始めるのに遅いなんてことはないと思います。家族のみんなが手伝ってくれて感謝しています。これからも元気に続けていきたいですね」と、話してくださったSさん。これからもSさんをはじめ、利用者さんの多様な趣味や興味を大切にし、充実した生活が送れるよう努めていきます。

とても細かく
きれいに色が塗られていますね♪

デイサービス

ボランティアのみなさんとともに

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、以前のようにボランティアのみなさんに施設を訪れていただけるようになりました。3年ぶりのボランティアさんの訪問に、利用者さんも「久しぶりだな」「いろいろな歌が聴けるのが楽しみ」と、とても喜んでおられます。

また今回は、今までにない形で出演してくださったボランティアさんもいます。それは、ケアハウス豊田の入居者さんです。昔からエレキギターを演奏しておられたということで、今回みなさんに披露してくださいました。

初めは大勢の前での演奏ということで「とても緊張する」とおっしゃっていましたが、みなさんからの声援や手拍子に、「演奏して良かった」と感じたと話してくださいました。

「初めてエレキギターを生演奏で聴いた」という方も多かったですが、昔の歌謡曲が流れると、懐かしそうに口ずさんでおられました。

すごくかっこいいですね！

ケアハウス

4年ぶり！屋外での盆踊り

7月25日(火)、4年ぶりに屋外での「盆踊り」を開催しました。

玄関先に提灯がともり、浴衣を着た利用者さんが登場すると会場はとても華やかな雰囲気となりました。賑やかな祭りの音楽が流れると、みなさん自然と体が動き出し、生き生きとした表情で踊りを楽しんでおられました。

踊りを見て楽しむ方や、屋台風の食事を堪能している方、お酒を飲んで頬がほのかに色付いている方など、久しぶりの屋外行事にみなさんとても満足そうにされていました。

着付けや踊りのボランティアの方にもご協力いただき、行事を盛り上げていただきました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

屋外で4年ぶりの盆踊り！

東山デイサービス

水泳大会 in 東山

7月14日(金)、「東山水泳大会」を開催しました。

水泳大会と言っても、本当に水中を泳ぐわけではありません。プールに見立てたビニールを素早く手繰り寄せ、先にゴールした方が勝ちという"模擬水泳"を、トーナメント形式で競いました。

「位置について、よ～いドン！」のかけ声とともに、日頃物静かな利用者さんによるたくさんの声援や、普段の姿からは想像できないほど目一杯に腕を動かされる姿に職員もびっくり。笑い声がフロアに響いていました。

全力で水泳大会を楽しんだ後は、勝者にメダルを贈呈し、お互いの健闘を拍手で称え合っておられました。

速い、速い～！

第2とよた苑

特別養護老人ホーム

夏ならではの生花クラブ

第2とよた苑では、利用者さんが絵を入れて飾り付けをした色とりどりの風鈴を、『風鈴祭り』と題してロビーに設置しています。

7月26日(水)には、そんな涼し気な雰囲気のロビーで「生花クラブ」を行いました。風鈴の音が響くなか、「きれいな花だから頑張って生けなくちゃね」「こんなにたくさん、全部きれいに生けられるかしら」と、みなさん集中して取り組んでおられました。

生け花が完成すると、「たくさんあったけど全部使っちゃった」「一生懸命やったから少し疲れたわ」と満足気に話しながら、カラフルな風鈴とともに、自慢の作品の記念撮影を行っておられました。

夏らしい作品に風鈴がぴったりですね！

みんなで手作りおやつ

旭ユニットでは、利用者さんと職員が一緒に楽しめる「ユニット調理」を企画し、実施しています。何を作るかはその月ごとにそれぞれで、誕生月の利用者さんが好きなものを作ってお祝いしたり、季節に合わせた料理を作って隣のユニットの利用者さんと一緒に楽しむこともあります。

7月のユニット調理では、ホットケーキを作りました。調理中はフロアに甘い香りが広がり、「いい香り。おいしそう！」と、うれしそうな表情の利用者さん。好きなフルーツやアイスでトッピングを行ってから召し上がっていただくと、「おいしい」と素敵な笑顔で召し上がっておられました。

おいしいおやつにほっぺが落ちます♪

デイサービス

ミニトマトとスイカを収穫しました

先月ご紹介したデイサービスセンターの畑で、スイカとミニトマトの収穫を行いました。

利用者さんと一緒に収穫したミニトマトは、「トマトジュース」にするため、冷凍庫に保存しています。

スイカは「スイカ割り大会」を開催して楽しんだ後に召し上がっていただこうと計画中です。利用者さんは「スイカ割りなんて何年振りだろ」「家からバット持ってこようか？」と、今からとても楽しみにされています。

ほら、おいしそうでしょ～

たくさんのトマト！

保見の里

心落ち着く書道の時間

月に1回行っている「習字クラブ」は、毎回参加される利用者さんが多く、人気のクラブ活動です。

書道の先生が毎月季節にちなんだお手本を書いてくださり、それをもとに利用者さんは真剣な表情で筆を走らせます。「なかなか良く書けた。ほら見て」と、見せてくださる方や、「少し斜めになっちゃった」と、首をかしげる方もいらっしゃいます。

みなさん心を落ち着かせて机に向かい、書道の時間を楽しんでおられます。

集中してます！

きれいな字ですね♪

大府の郷

特別養護老人ホーム

足腰、丈夫にな～れ

ショートステイを利用されていたAさん。当時の移動能力は自立レベルで、見守りのもとで歩行されていましたが、認知症の進行や体調を崩されたことで、一人での歩行や家での生活が難しい状態となり、特養に入所されることになりました。

ここで、機能訓練指導員の出番です。Aさんの背中と腰、股関節や膝関節などの状態を確認し、リハビリの訓練内容を作成しました。私たち介護士は、その内容に合わせ、手引き歩行などの訓練を毎日実施しました。5か月実施した結果、現在はショートステイを利用されていた頃に近い状態まで回復されています。

これからも機能訓練を続けて、いつまでも元気なAさんでいてくださいね。

介護士とのリハビリの様子

デイサービス

狙いを定めて・・・

レクリエーションの時間に「ビリヤードゲーム」を行いました。

キューに見立てた棒でボールを突き、いろいろな大きさの箱に入れるゲームです。「頑張って!」「もっと強くだよ」という声援の中、棒をしっかりと握って玉を突き、一番小さな箱に玉が入ると「すごい、入った!」と拍手が起こって大盛り上がりでした。

レクリエーション後には、おやつを食べながら、利用者さん同士で「楽しかったね」と話される姿も見られました。

今後も、みなさんで楽しめるレクリエーションを考えていきます。

力加減も大事です

居宅介護支援事業所

家族支援について

私たちケアマネジャーは、利用者さんの支援だけでなく、ご家族の支援も行います。先日、担当している利用者さんの娘さんから、「兄の知人から、兄と連絡が取れないと心配の連絡があったため自宅に行くと、お酒を飲んで動けなくなっている。どうしたらいいのでしょうか」と、相談の連絡がありました。

アルコール依存症の疑いがあったため、近隣の医療機関のソーシャルワーカーに相談し、受診に繋ぐことができました。その後、障がい者相談支援センターと繋がりができ、自立支援医療制度利用での通院、訪問看護、配食サービスを利用することで、お兄様の自立支援に向けて支援が動き出しました。

今回の相談により、家族支援や多職種連携の大切さを、改めて感じることができました。

若草苑

チンドン屋さんが来たよ

7月16日(日)、昔懐かしの「チンドン屋さん」の訪問がありました。

来てくださったのは、地元の5歳から75歳のメンバーで活動されている、今年結成されたばかりの「チンドン屋・ゑみ華組」さんです。人目を引く仮装をして「チンチン・ドンドン・チンドンドン」と、楽器を奏でながら登場すると、利用者さんは席を立って拍手で迎えられ、可愛らしい小さな子供さんが、一生懸命演奏している姿を見て、笑みがこぼれていました。

チンドン太鼓やアコーディオン、サックスなどの演奏に合わせて、昭和の歌謡曲を全員で心弾ませて歌うと、あっという間に時間は過ぎ、握手会では涙する方もおられました。

笑顔と元気をいっぱい届けてもらい、素敵な時間を過ごすことができました。

楽しい時間をありがとうございました！

春日苑

還暦のお祝い

7月16日(日)、60歳を迎えられたYさんの「還暦祝い」を行いました。

当日は、赤いちゃんちゃんこを羽織っていただき、お祝いの花束をお渡ししました。みなさんからの質問で、「今の楽しみや元気の秘訣は何ですか?」と聞かれると、「中日ドラゴンズの優勝」と答えておられました。

Yさんは、野球が本当に大好きで、いつも試合の日にはテレビをつけて応援されています。試合が終わると、野球好きの利用者さんや職員と結果について楽しそうにお話しされている姿もよく見られます。

これからもずっと元気で、大好きな野球チームの応援続けてくださいね。

還暦おめでとうございます♪

みんなでモルック

毎月、利用者さんが楽しみにしている「モルッククラブ」の様子をご紹介します。

「モルック」とは、フィンランドの伝統的なゲームを元に開発されたスポーツで、"モルック"という木の棒を投げて点数の書かれたピンを倒し、先に合計得点が50点になった方が勝ちというルールです。

利用者さんは、自分の番になると真剣な表情でピンを狙ってモルックを投げます。思い通りにたくさんのピンが倒れることもあれば、1本しか倒れないこともあり、一喜一憂。周囲の応援も受けながら、いつも楽しんで取り組まれています。

たくさん倒れるかな？

障がい者生活支援センター

研修報告

「春日井市手をつなぐ育成会」主催の研修『家族としてできること～8050問題について～』に参加させていただきました。

講師は、日本福祉大学経営学部の錦祐二教授で、「障がい者である前に、人であれ!」「当たり前の生活を当たり前に」という教授の基本的な理念から、保護者が高齢化する中で、将来に向けて「日中活動」「居住」「後見」をどう組み立てていくかがポイントになると教えていただきました。

今回の研修で学んだことを、利用者さんの将来設計や保護者の方からの相談に活かしていきたいです。

春日苑障がい者生活支援センター
(0568)88―7637
E-mail:kasugasien@douen.or.jp
担当　水野・正木・美和・池戸・長尾

ワーカー鷹来（たかぎ）

地域の企業と共に

今月は、「株式会社一栄食品」様からいただいているお仕事を紹介します。

仕事内容は、主に「おつまみのセット作り」です。するめやたらの入った子袋をフードパックや袋に入れる作業で、決まった数を決まった向きに並べて入れるのですが、中で崩れたりするのできれいに入れるのはなかなか難しく、みなさん型板を使って取り組んでおられます。1週間で600袋の注文が入るときもあり、納期に向けて毎日みんなで力を合わせて作業に取り組んでいます。

納品日には、荷物の出荷なども協力して行い、ダンボールを運び終わるとみなさん誇らしげな笑顔を見せておられます。

社長さんと一緒に記念撮影。
一栄食品様、今後もよろしくお願いします！

サンホーム豊田

花火は夏の風物詩

7月16日(日)、桝塚西町にある「津島神社」でお祭りが開催されたため、利用者さんと一緒に参加しました。

神社で参拝した後、お祭りの雰囲気を楽しみながら歩いていると、たくさんの行燈が飾られており、利用者さんは「綺麗～！」「写真撮って」と、祭りならではの風景を楽しんでいました。

帰りにお土産で手持ち花火をいただいたので、施設に帰った後、早速駐車場で花火を行いました。空は薄暗く、日中の暑さが和らいだ涼しい空気の中で行う花火はとても風情があり、夏を感じるひとときとなりました。

わぁ～とってもきれい！

真夏の風景

例年のことですが、今年の夏も暑く、連日気温が35度を超える猛暑日が続いています。

外での活動は熱中症が心配なので、日中の活動は室内が中心となっています。個別活動で腹筋や腕立て伏せ、踏み台昇降等の筋肉トレーニングを行う方たちは、軽く汗をかいて爽やかな笑顔を見せています。

ボードに造花を挿したり、脳トレパズルや字の練習、算数の勉強を行う方も、涼しい室内で集中した時間を過ごし、それぞれに有意義な時間を過ごしておられます。

筋トレを頑張ります！

さくら保育園

パイナップルってどんなの？

7月21日(金)、2歳児の園児が「パイナップル」の作品作りを行いました。

おやつの"フルーツポンチ"の中に入っている果物について、保育士が紹介していると、子供たちは「パイナップル？」「果物なの？」と疑問でいっぱいの様子。絵本でパイナップルを見せてあげるだけでなく、どうせなら自分たちで作ってみようということになりました。

パイナップルの形の台紙に、ちぎった折り紙を糊付けして作っていくと、「パイナップルはギザギザなんだよ」「おいしくなるようにたくさん貼りたい」と、根気良くちぎって貼り付けていました。

出来上がった作品を見て、「保育園ではいつパイナップルを食べられるの？」と、おやつにフルーツポンチが出るのを楽しみしていました。

どんな模様のパイナップルができるかな？

さくら第2保育園

今年も開催！お化け屋敷

7月25日(火)、夏の恒例行事「お化け屋敷」を行いました。

お化け役は年長組の園児たちです。みんな朝からとても楽しみな様子で、保育士が「怖くないの？」と聞いても、「全然怖くない」と余裕の表情でした。しかし、いざお化けを目の前にすると、固まってしまったり、泣き出してしまう子もいましたが、宝箱のペンダントを取りに行くミッションに一生懸命取り組んでいました。

泣いてしまった子は、年長組のお化けたちが手をつないで優しくゴールまで連れて行ってあげたので、「お化け優しかった」と、年長組の園児にお礼を言っている子もいました。

年長組のお化けの他にも、保育士が「ぬりかべ」や「カオナシ」、「アナ雪のお化け」などに扮して盛り上げ、園児たちは夏の恐怖体験を楽しんでいました。

お化けがいっぱいだ！

支えていただいた方々（敬称略　順不同）

春緑苑

【特養】
寄付金
- 青木弘子
- アカチャン食品

ボランティア
- 武内喜代子
- 塚田美智子
- 近藤登美子
- 一ノ谷君子
- 赤坂智絵
- 赤坂千秋

【デイ】
寄付物品
- 山内量博
- 南沢正勝
- 宮本すみ
- 井上和代

第2春緑苑

【特養】
寄付金
- アカチャン食品

春日苑

【特養】
寄付金
- 平手修

ワーカー鷹来

ボランティア
- 立山哲男
- 風間公一
- 安藤八栄美
- 小平嘉津子
- 島津たつ子
- 西田利秋

第2とよた苑

【特養】
寄付物品
- 有限会社深見業務店

ボランティア
- 藤井玲子
- 市川貴代美
- 荒川さつき
- 中條厚子
- 中條ひとみ
- 毛受秀子

保見の里

ボランティア
- 藤井玲子
- 市川貴代美
- 荒川さつき
- 中條厚子
- 中條ひとみ
- 毛受秀子

さくら保育園

寄付物品
- 戸来雅子
- 矢野彩乃
- 川嶋絵里奈

大府の郷

【特養】
ボランティア
- オカリナ嚶鳴
- ウクレレ大福

若草苑

寄付物品
- 中川保険
- 十一屋雑貨店

ボランティア
- 崇化館中学校麦の会
- 桑み華組

サンホーム豊田

寄付物品
- 中島利津子
- 髙木禎宜

ボランティア
- 崇化館中学校

新人職員紹介

8月1日付

①職種 ②趣味・特技 ③自己PR

特別養護老人ホーム第2春緑苑

江口晃平

①介護職員　②運動、おいしいもの
③自分が成長できるような働き方をしたいです。よろしくお願いします。

さくら保育園

鈴木やよい

①調理員
②映画鑑賞
③健康第一で頑張りたいと思います。

ピザ窯をいただきました

有限会社深見業務店様から、特別養護老人ホーム第２とよた苑に「ピザ窯」を寄贈していただきました。

なんとこのピザ窯、ピザはもちろんのこと、焼き芋やパンも焼けるそうです！

炎天下の中一生懸命施工していただき、窯の外側には仕上げに可愛らしいビー玉や貝のガラス装飾もあしらってくださいました。

大事に使わせていただきます。有限会社深見業務店様、ありがとうございました。

○○ってどんなところ？

いろいろと種類があってわかりにくい介護保険サービス。この特集では、
サービスを利用していない方にもわかりやすく、“介護のこと”についてお伝えしていきます。
第2回目の今回は、在宅サービスの「訪問介護」についてです。

■訪問介護（ヘルパーステーション）とは

訪問介護とは、ヘルパーがご自宅を訪問し、身体介護や生活援助などを行うサービスです。

■訪問介護のサービス内容

身体介護

食事介助、入浴介助、排せつ介助、体位変換、移動・移乗介助、外出介助　など

生活援助

食事の準備、掃除、洗濯、アイロンがけ、ゴミ出し、爪切り、日用品の買い物代行　など

通院等乗降介助

（通院等のための）乗車又は降車の介助、受診手続き、薬の受け取り　など

■介護保険の適用外となるサービス

利用者さん本人の援助に該当しないものは介護保険の適用外となるため、ヘルパーが行うことができません。

※保険外サービスとして別料金で実施している事業所もあります。

例：草むしり、ペットの世話、大掃除、家具家電の修理、家族のための家事　など

■利用までの流れ

訪問介護サービスを利用するには、要介護認定やケアプランの作成が必要になります。まずはお近くの地域包括支援センター、居宅介護支援事業所にお問い合わせください。

職員エッセイ 第6回

ワーカー鷹来
管理者・生活支援員
菊田剛弘

この法人で働き始めて、２０年が経ちました。障がい者施設と高齢者施設を経験し、現在は障がい分野の就労継続支援Ｂ型事業所で管理者兼生活支援員として勤務していますが、実は大学までは「体育の教師になり、柔道を教えたい」と、中学から大学まで柔道一本で、福祉のことは何も知りませんでした。

福祉に興味を持ち始めたきっかけは、大学３年生のときに肩を大ケガし、思うように柔道ができなくなったことで悩んでいたときに、教育実習で行った就労の作業所で、障がいのある方たちと出会ったことです。一人ひとりの純粋さと、作業に対する正確さ、集中力の素晴らしさを感じ、こんな仕事もあるんだと考え直す機会になるとともに、利用者さんの笑顔が素敵だなと思い、福祉の道へ進むことに決めました。

今年度から、私の原点である障がい分野の就労の現場に異動になり、今まで以上に勉強中です。一緒に働いてきた上司、同僚、この仕事に理解のある元職員の奥さんがいたから、２０年間も続けることができました。これからも利用者さんのために福祉の道を進んで行きたいと思います。よろしくお願いします。

追記　タンスの奥にあった青の柔道着を出して、小学６年生の成長期真っ只中の息子に着せてみました。息子は私に似て体格に恵まれていますが、陶芸や料理が好きで文科系の道を進んでいます。いつか柔道を教えることができればいいな。

社会福祉法人 恩賜財団 愛知県同胞援護会

法人本部　〒487-0031　愛知県春日井市廻間町703-1
TEL：0568-88-8302　FAX：0568-88-0306
E-mailアドレス：info@douen.or.jp　HPアドレス：https://douen.or.jp

ホームページでは
スタッフ日誌を更新中です！